

恩師・OBからメッセージ



中村龍夫さん
(公財) 県体協常務理事、
16年大津高ラグビー監督
を務め14回花園へ導く

新しい歴史を
歴史的な巡り合わせを感じた勝利でした。大津緑洋の花園出場はキャンブ地招致には必要不可欠です。歴史を塗り替えたこの伝統を受け継ぎ、新たな歴史を作ってもらいたいです。



池野淳司さん
日新製鋼(株)、水産高
ラグビー部 S56 卒、
高校日本代表

OBとして嬉しい
想像を絶する厳しい練習に耐え、高校日本代表に選出されたが、チームとしては花園出場を果たせぬ悔いの残る3年間でした。私の夢でもあった花園で力を発揮することを期待します。



中嶋唯雄さん
(株)ベアーズコーポレー
ション代表取締役、大
津高ラグビー部 S60 卒

躍進に夢をたくして
夢を語る人は、10,000人。夢を行動に移す人は100人。夢を実現させるために、本気で信じ努力する人は一人と言われています。今回のメンバーは、まさにその一人です。



古川拓生さん
筑波大学ラグビー部
監督、大津高ラ
グビー部 S62 卒

今に満足せず前へ
連勝を続けるチームに勝つという事は、技術だけでなく、一人ひとりの強い心とチームの結束があったから。10年後、新たな歴史の節目になったと語れることを楽しみにしています。



伊藤公一さん
神戸大学経済学部、
大津高ラグビー部
H25 卒

花園の地で楽しんで
花園出場おめでとうございませう。僕たちが花園に連れて行く立場だったのに、逆に連れて行ってもらうことになり本当に頭が上がりませんが、そんな君たちは僕たちの誇りです。

第93回全国高校ラグビーフットボール大会山口県決勝

日時：平成25年11月23日(土)
会場：依山スパスタジアム

大津緑洋 25 (10-7) 19 萩商工

名門校が復活！



▲ノーサイドの笛が鳴り、喜ぶ大津緑洋高校のメンバー

招致へ向け、のろし
11月23日(土)、依山スパスタジアムで第93回全国高校ラグビーフットボール大会県予選の決勝が行われ、大津緑洋高校は、25対19で12年ぶりの花園出場を決めました。
平均体重で3キロ勝る萩商工のゴール手前での猛攻をチーム一丸となって守り抜き、前へ出る攻撃の手を緩めず得点を重ね、ノーサイド。市民が待ち望んだ悲願を達成しました。

大津緑洋高校
ラグビー部
中野伸彦 主将

1995年8月29日、三隅生まれ。ポジションは、ナンバー8。中学時代には駅伝で活躍。ノーサイドまで走れる体力が自慢。模範的なチームを目指す、頼れるキャプテン。172cm、78kg



萩商工という最高のライバルがいたおかげ
試合では、ノーサイドまで守りに入らずに前へ出ることができました。また、相手フォワードの攻撃を気迫で切り切ることができました。自分たちが成長できたのは、萩商工の選手のおかげです。彼らを超えようと頑張ってきたからこそ、花園出場を果たすことができました。応援していただいたOBや保護者、地域の皆さんに感謝します。

大津緑洋高校
ラグビー部
磯部秀治 監督

大津高校ラグビー部 S60 卒。高校時代のポジションはスクラムハーフとウィング。2・3年生時に花園に出場。平成23年より大津ラグビー部監督に就任。3年目。監督として初めての花園出場となる。



勝つことしか恩返しができない
応援していただいた皆さん、市民の皆さんには、言葉に表せないくらい喜んでいただき、嬉しいというよりは少し「ほっとした」という気持ちです。体格差を見事跳ね返した選手を褒めてやりたいが、目標はあくまで花園での1勝です。とにかく前を向いていくことが、勝利につながる。地域の活性化、長門市の活力につながるはずだ。

～私たちにできること～

ラグビーのまちへ

特集

▶ラインアウトでは、終始空中戦を制した大津緑洋高校





マスコットキャラクター ナガミー

長門市出身の酒井藍さんがデザイン。長門市の地形から羽ばたく鳥をイメージ。静ヶ浦を中心に市内に多く棲む「ミサゴ」をキャラクター化。歌舞伎の隈取を模したアイライン、足でつかむ山口国体の試合球が特徴。

俵山スパスタジアム
(俵山多目的交流広場)

- ◆スポーツ交流広場（天然芝）
面積 11,560㎡、ラグビー・サッカー・アメフト等の使用が可能
- ◆ふれあい広場（人工芝）
面積 11,470㎡、ラグビー・サッカー・アメフト等の使用が可能
- ◆いきがい広場（土グラウンド）
面積 8,090㎡、ソフトボール・グラウンドゴルフ等の使用が可能
- ◆その他
管理棟、事務室、トイレ、シャワー室、多目的ホール、駐車場



▲ラグビーワールドカップ2019
長門市招致委員会設立総会のようす

ラグビーワールドカップ キャンプ地招致を目指して

この委員会は、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップのキャンプ地誘致を行い、新たな夢づくり、地域づくりを推進しようと平成25年6月27日（木）に設立されました。

招致委員会について

2011年に俵山多目的交流広場で開催された「おいでませ！山口国体」のラグビーフットボール競技会は、全国からの多くの来場者を、地域をあげての温かいおもてなしと盛大な歓迎で迎え、大盛況のうちに幕を閉じました。大会を契機に培われた地域の連携の深まりと郷土の誇りを推進力として次世代への飛躍へつなげるため、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップのキャンプ招致という新たな目標を掲げ、ラグビーワールドカップ2019長門市招致委員会を設立しました。

これまでの取組

招致委員会では、キャンプ

招致の活動を子どもからお年寄りまでより多くの皆さんに知っていただくために、マスコットキャラクターを作成しました。

また、マスコットキャラクターとともにキャンプ会場の候補地としている「俵山多目的交流広場」の愛称募集を行いました。平成25年9月28日（土）に、山口県では初開催となる日本ラグビー最高峰「トップリーグ」の試合会場（維新百年記念公園陸上競技場）において、愛称の発表を行いました。

キャンプ招致の情報収集とキャンプの円滑な受け入れへ向けた活動としては、日本ラグビー協会等が主催する説明会やワークショップ、外国大使館が開催する事例発表セミナーなどにも積極的に参加しています。

これからの取組

キャンプ招致の活動を市民が一体となって盛り上げるために、次の4項目を柱に活動します。

① 誰もが関われる取組

招致委員会のみならず、競技者やファン、スタッフ、子どもからお年寄りまで、市民の誰もが関わることでできる取組を推進し、県下全域にも効果を波及させていきます。

◆主な取組 サポータークラブの募集、各イベントへの参加、コンクール等の実施

② 交流を育む取組

開催までに県内で数多くのイベントが予定されていることから、各種大会を通じて積極的に交流を図り、招致へ向けたPR活動を推進します。

◆主な取組 ねりんピック

おいでませ！山口2015、世界スカウトジャンボリー、全国高等学校総合体育大会

③ 地域経済の発展につながる取組

招致活動を通じて、本市の観光や文化を世界へPRし、新たな合宿や大会等の誘致を

キャンプ招致委員会

花園出場が招致の大きな起爆剤に

大津緑洋高校ラグビー部においては、12年ぶりの花園出場おめでとうございました。気迫と集中力のこもった素晴らしい試合でした。

キャンプ招致委員会では、地元校の花園出場が不可欠であると考えていたのが、今回の出場が市民の皆さんと一緒に招致活動を盛り上げていく大きな起爆剤となると考えています。

キャンプ地招致は、多くの力が集まってこそ成功につながります。今後は、ラグビーの魅力を知ってもらい取組を行い、地域の皆さんとラグビーの良好な関係を築いて招致活動の原動力としていきたいです。



藤田雅史さん
RWC2019 長門市招致委員会副会長、県ラグビーフットボール協会副会長

キャンプ地招致地区住民

山口国体のように盛り上げたい

昨年、俵山スパスタジアムの指定管理を受けることとなったNPO法人ゆうゆうグリーン俵山です。指定管理を受けた今年度に、ラグビーワールドカップ2019長門市招致委員会が設立され、また大津緑洋高校ラグビー部が12年ぶりに花園出場と、偶然とはいえこれからの地元での招致活動の好材料になったのではないかと思います。

4月の運営当初より、利用者へのおもてなしの心を念頭に運営してきました。山口国体の盛り上がりのように、地元が一体となって招致活動を行っていききたいと考えています。



中原英樹さん
NPO法人ゆうゆうグリーン俵山理事長、RWC2019長門市招致委員会常任委員

行つなど地域経済の活性化につながる取組を推進します。

◆主な取組 合宿やイベントの誘致

④子どもが夢を持てる取組 子どもたちが選手としてラグビーワールドカップやオリンピックに出場することを目標に掲げ、子どもたちが夢を

◆主な取組 我がまちスポーツの推進、タグラグビー大会の開催、中学生ラグビー教室の実施

今、私たちにできること

キャンプ招致活動を応援する「ナガミークラブ」を設置し、会員等を募集します。招

致の支援につながるサポータークラブに加入し、招致活動を応援しましょう。

クラブメンバーズ

◆年会費 1,000円/口、会員証の発行、オリジナルグッズの進呈 など

VIPメンバーズ

◆年会費 5,000円/口、会員証5枚発行、のぼり旗を進呈 など

クラブショップ

◆加入条件 メンバーズへの入会、メンバーズへのサービス提供
クラブショップミニのぼり旗を進呈 など

※詳細は、長門市招致委員会ホームページ等で確認してください

あとがき

12年ぶりの花園出場、関係者の皆さん、おめでとうございました。また、大きなプレッシャーを力に変え、勝利を手にした選手皆さん、感動をありがとうございます。ラグビーの魅力は、経験しないとなかなかわかりません。いきなりラグビーとはいきませんが、タグラグビーであれば、子どもから大人まで一緒に楽しめます。

昨年12月1日（日）「大津緑洋ラグビー部へと続け」と意気込んで、サントリーカップ小学生タグラグビー県大会に出場した明倫TRC。過去2回の全国制覇を誇る良城小学校チームを破り、1月13日（月）出雲ドームで開催される中国大会への出場を決めました。

まずは、親しみやすいこのタグラグビーを楽しんで、ラグビーの魅力を知り、みんなで招致活動を盛り上げていきましょう。